

橋本県知事が^{こうひょう}降雹被害を調査 梨、タバコで約7億1千万以上の被害

5月14日、県知事、県議会農林水産委員会委員、地元選出県議会議員などが、県西北部を中心とした10日の降雹の被害にあつた関館地内の梨やタバコのほ場を調査しました。市農政課によると、市内の梨の収穫皆無が約121畝(作付面積367畝)、被害金額約6億9千4百万円、タバコが3.9畝(作付面積38畝)、被害金額約1千6百万円。

現地を案内した富山市長は「梨は主要な市の特産品で、農家は土づくり、人づくりに勤しみ安全・安心な梨作りに励んできた。早急な対策を講じてほしい」と助成や融資の検討を知事に要望しました。



笑顔があふれる筑西の休日 新緑の宮山公園で鯉のぼり祭り

4月22日から5月5日まで、宮山ふるさとふれあい公園で「鯉のぼり祭り」(鯉のぼり祭り実行委員会主催)が開催されました。会場には市内の小学生が描いた手作り鯉のぼりや市民から寄贈されたものなど約500匹の鯉のぼりが風を受けて大空を泳いでいました。

5日のこどもの日には、太鼓の演奏や子どもたちによるヒップホップダンスのステージ、輪投げ大会、鯉のぼりの早あげ競争などさまざまなイベントが開催されました。美しい新緑と元気に泳ぐ鯉のぼりに囲まれ、訪れた多くの人たちが、楽しい一日を過ごすことができました。

手軽なスポーツで楽しく交流 子ども会球技大会・子どもまつり

5月13日、関城運動場と関城体育館を会場に第29回子ども会球技大会が開催されました。これは、市子ども会育成連合会関城支部が、スポーツを通して交流を図ろうと毎年行っているもの。子どもたちは、バッティングテーパーの上に置かれたボールを打つティーパーや、ビーチボールバレーで汗を流して楽しみました。

また、南側キャンプ場では、第18回子どもまつりが開かれました。Kids天国実行委員会と筑西リーグス高校生会の協力で、ピッチングゲームやバールンアート、昔の遊びなどの催しが行われ、大勢の子どもたちでにぎわいました。



関城中が初優勝

飛田穂州旗中学野球大会

4月に水戸市で行われた「飛田穂州旗第20回中学校野球大会」で関城中が見事、初優勝。5月9日、関城中野球部員が市役所を訪れ、富山市長に優勝報告をしました。関城中はチームワークを生かし、決勝で佐野中（ひたちなか市）に逆転勝ち。また、5月に下妻市で行われた「為桜野球大会」でも優勝を飾りました。



めざせ！世界大会

茨城ちびっこオセロキャラバン in 下館

5月6日、地域交流センターアルテリオで、「親子オセロキャラバン in 下館」が開催されました。このイベントは下館青年会議所（野寺孝理事長）が開催したもので、40組の親子が熱戦を繰り広げました。オセロは覚えるのに1分、習熟するには一生と言われ、単純なようで奥が深いこのゲームは、水戸市が発祥の地です。同会議所未来のちから育成委員会の片平忠志委員長は「オセロは年齢を問わず楽しめるゲームです。親子のコミュニケーションのきっかけになれば」と話してくれました。7月1日には県大会が開催され、この大会の上位5人が出場します。

環境美化にさわやかな汗

関城未来クラブがボランティア清掃

関城地区の若き経営者でつくる関城未来クラブ（斉藤光男会長）のみなさんが、4月22日、道路の清掃活動を行いました。当日は27人の会員が関城支所周辺や関館工業団地などの沿道に落ちていた鉄くずや空き缶、ペットボトルなど、2トンダンブ3台分を回収。また、回収した鉄くずなどのリサイクル代金3万1157円を市の福祉基金に寄付してくれました。会長の斉藤光男さんは「私たちは、日ごろから地元には大変お世話になっていきます。少しでも恩返ししたいという気持ちで仲間が集まってくれます」と笑顔で話してくれました。

